

観光資源の掘り起しは

(明政会)

問 本市には、歴史を誇る名勝鞍の浦、福山城、かすり 緋、琴などの観光資源があるが、ほかにも多くの観光資源が埋もれていると考えられる。思い切った「コ－ディネート」を市民と協働で開拓してはどうか。

答 ホテル・旅館等関係団体と構成している「福援隊」では、龍馬と鞍の浦の関係を観光資源として掘り起こすとともに、「龍馬伝」に合わせ建造した「平成いろは丸」が好評を得ており、渡船が観光資源として生まれ変わり、福山への誘客に貢献している。今後も市内にある地域資源に着目し、市民との協働により福山独自の個性を磨き光らせた「福山ブランド」の創出に向け取り組んでいく。

◆関連質問

・「瀬戸内 海の道1兆円構想」について
(新政クラブ)

鞍地区の観光振興について

(水曜会)

問

1月に就航した市営渡船「平成いろは丸」が多くの観光客に利用され評判となっており。渡船場の待合施設について、冬場の寒風対策や観光客の集合拠点として建物の改築をし、整備する必要があるのでは。



福山市営渡船場(平成いろは丸のりば)

答

渡船場の施設整備は、これまで待合の内壁やトイレ改修等を行っている、本年度は雁木の工事を行っている。寒風対策等の課題も認識しており、建物を含む渡船場の整備も鞍町全体のまちづくりの中で取り組んでいく必要がある。また、観光客の大幅増加に伴う交通混雑等の課題は、地元住民と関係

機関とで協議を重ね、路上駐車対策や駐車場案内板の設置など、当面可能な取り組みを進めている。

◆関連質問

・鞍町のまちづくりについて
(日本共産党)

(仮称)療育センター整備基本構想について(日本共産党)

問 整備基本構想は、就学前の児童の発達障がい限定しており、就学児童や青年・成人は対象としていない。対象年齢を限定せず、すべての子どもを対象とすることを求める。

答

「療育センター整備のあり方検討会」の議論で、就学前の早期療育が最も重要であり、「就学前に適切な医療・療育を行うことで、就学後における二次障がいの減少につながる」との専門家の意見により、主として就学前を対象とした。対象者の範囲を広げるほど何カ月も予約待ちの状況が生じる恐れがあることから、県東部の現状から最も求められている就学前の発達障がい児を対象とした施設をめざす。

◆関連質問

・先進地となるような施設の特色について
(水曜会)
・実施したパブリックコメントの概要は
(公明党)
・療育センター完成に向けた今後のスケジュールについて
(市民連合)

福山市遺児年金制度について

(日本共産党)

問

高校生までの子どもがいる母子・父子家庭支援のための遺児年金制度を廃止しようとしているが、市内では6700人を超える子どもたちが対象となっている。生活保護を受けていない母子家庭の8割が生活保護水準以下の生活を強いられ、就職率も低く、暮らし向きは厳しい状況であり、その家庭を支える制度の廃止はあまりに冷たい。廃止方針の撤回を求める。

答

この制度は、1971年に創設した本市独自の制度で、父子家庭を含むひとり親家庭の支援策として一定の役割を果たしてきた